

# 堂谷津の里 自然だより

# 2021年 3月



啓蟄。冬ごもりしていた虫たちが地中から這い出してくるころ、暖かい日と寒い日が交代でやってきます。真っ青な空に葉を落としたコナラやクヌギが映え、時折ウグイスのさえずりが聞こえます。アカガエルはまもなくオタマジャクシに・・・。道端は少しずつ草が芽吹き、枯れ草色から緑色へ変わっていきます。

## 早春の堂谷津の里 少しずつ花のにぎわいが広がります。



オオイヌフグリ



ヒメオドリコソウ



ホトケノザ



カントウタンポポ



シオンラン



アオイスミレ



タチツボスミレ



ナズナ



ノミノフスマ



タネツケバナ



カラスノエンドウ

## 成虫で冬越し がんばりました！



キタキチョウ



キタテハ



ルリタテハ



ナナホシテントウ



クビキリギス



ツチイナゴ

昆虫の冬越しは、卵・幼虫・蛹・成虫と種によって様々です。冬でも暖かな日に動き回る寒さに強い虫もいれば、じっと隠れているものもいます。でもやっぱり、春は楽しみ！たくさん食べて卵を産む準備をしなければ・・・。



幼虫でがんばってます！

## 繁殖の季節到来 がんばらなきゃ！



ウグイス



モズ

ウグイスの初鳴き確認は 2月 23 日でした。その日はとても上手に鳴いていましたので鳴きはじめはもっと早かったのでしょうか。「ホーホケキョ」のさえずりが里山に響き渡ると繁殖への準備に入ります。近くでモズもカップル成立か？

## <季節メモ> 春がきた！どうしてわかるの？

ウグイスなどの野鳥は、昼が長くなると体内のホルモンが分泌され“春がきた”ことを認識する。恒温動物のため、変化の激しい気温は関係ないようだ。

それに対して変温動物の昆虫などは、自分の活動できる温度を起点としてそれより高い分を積算して、その合計の値で春を知るようだ。生きものは個々に体内時計をもって時を計っていると考えられている。

写真・編集：晝間